



岩手県気仙地区 移動・生活支援 活動記録

頑張れ、日本
頑張れ、東北



NPO法人 日本せきずい基金

理事長 大濱 眞 (日本障害フォーラム JDF理事)

年間5000人程発生している脊髄損傷。私たちはその当事者、家族、医療関係者に対し、生活・医療・リハビリに関する情報を提供し、様々な活動を通じQOLとADLの向上を目指している

支援活動 第1期 —安否確認・医療支援—

- 2011年3月11日から 会員名簿より安否確認
- 2011年5月から7月まで 現地での医療支援



2011年4月中旬より医療品・生活用品
カソリン等支援物資を収集し、日本脊
髄障害医学会と協力の医師と被災地
に向かいました。

三陸沿岸地域の身体障害者及び体の
不自由な方々に医師と共に、医療品と
必要物資を配布して回りました。



多くの方が他者を気遣い遠慮の中生
活し、身体の不自由な方は物資も無く、
特に厳しい環境の中、避難生活を送っ
ておられていた。

支援活動 第2期 —状況調査・生活支援—

- 2011年7月から2012年3月まで



JDFと共同で、全障害者を対象とした
状況調査に参加

調査と並行し、物資の必要性の確認と
配布を継続



ひかみの園…障害者用入浴コンテナへ
の入浴送迎支援

その他本部での活動内容

- ①車イスの役員を現地に派遣し状況を内閣府事務官へ報告
- ②医学会や各種当事者団体、役所、一般社会への状況報告及び問題提起を行っています

支援活動 第3期 —生活及び外出支援・障害者実態調査—

- 2012年4月17日から現在



JDFいわて支援センターの開所式に陸
前高田市長を招き、4月17日に岩手県
陸前高田市竹駒町にて、事務所を開設
しました。



役所の手続き等、生活支援は多岐に及
ぶ為、余剰支援にならないように必要
度・困難度を精査した上で、運営してい
きます。



日本せきずい基金はその活動の内、生
活外出支援を主に担当し、ドライバー
の派遣及び、ニーズの把握、サービスの
提供を行っています。



開所式で陸前高田市長が宣言したノ
ーマライゼーションが浸透し、言葉が
無くなる地域作りの支援と、活動の継
続を目指します。

※移動支援・調査事業にこだわらず、各種団体と共同のイベント開催等の活動も予定しています

特定非営利活動法人 日本せきずい基金事務局 〒151-0052 東京都府中市住吉町4-17-16 TEL.042-366-5153/FAX.042-314-2753

→Web サイト : <http://www.jskf.org/> →E-mail : jskf@jskf.org